

COC事業展開のながれ

- 事業期間5年間(2013年度～2017年度)を、大きく3つのステージ(期間)に分けて活動を推進していく。
- 事業推進においては、その有効性を担保するために、PDCAサイクルを回しながら、取り組みの精査・高度化を図っていく。

第1ステージ

2013～2014年度

計画・試行・挑戦の期間(Plan, Do)

- 「地域志向科目」の導入と「見える化」を行い、本学が地域志向を重視することを学内外に打ち出した。また、COCプロジェクトを始動し、教育・研究・社会貢献が一体となった様々な試みを実施すると共に、学内普及に努めた。

第2ステージ

2015年度

見直し期間(Check)

- 当初2年間の活動を評価・検証し、最終年度に向けての方針を策定する。
- 地域志向科目の全学的普及に向け、工学部、デザイン工学部の共通・必修科目の地域志向化を達成した。COCプロジェクトも、学内普及の効果もあり、拡大が図られた。

第3ステージ

2016～2017年度

土台づくり・飛躍準備(Action)

- 3年目の見直し結果を受け、地域と共生していくために、補助期間終了後も持続可能な体制・インフラ整備を行う。
- 全学部で地域志向科目の必修化を達成し、全学生が地域について一度は学ぶと共に、より高度な地域志向教育・研究・社会貢献に取り組めるカリキュラムを提供する。
- COCプロジェクトも単なる拡大ではなく、プロジェクトの選択と集中、プロジェクト当たりの参加教員数の拡大、プロジェクト間連携など、地域志向の定着期に相応しい展開を図る。
- 持続的な地域志向の取り組みに向け、自治体や企業等との連携体制構築、地域共創センターの本格的な運用を図る。

	第1ステージ (Plan, Do)		第2ステージ (Check)	第3ステージ (Action)	
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
教育	プロジェクトのカリキュラム化 ↓ 地域連携PBLの本格導入 ↓ 地域志向科目のシラバス明示		育成効果検証 ↓ 見直し・改善	新規プロジェクトのカリキュラム化(サイクル確立) ↓ 地域連携PBLの本格導入 ↓ 全学的な地域志向科目の履修促進	
研究	学生参加型共同研究 ↓ 新規ビジネス需要 ↓ 人材ニーズの掘り起こし		学生の成長検証 ↓ 支援対象選定 ↓ 企業・学生フォロー	地元企業の技術力向上(地元還元) ↓ ビジネス支援(産業振興・創出) ↓ 地元企業へ人材定着・コミュニティ形成	
社会貢献	知の公開(公開講座・セミナー) ↓ 知の交流(イベント) ↓ 知の創生(技術創生プロジェクト)		地域ニーズの検証(行政、企業) ↓ 支援体制の検討	ニーズに対応した公開講座・セミナー ↓ 交流拠点・Web上での交流 ↓ 産学官金連携によるイノベーション	